

庁議における審議要旨	
日時	
令和7年9月18日 午後3時00分～午後3時25分	
場所	
庁議室	
出席者	
区長、副区長、副区長、教育長、総務企画部長、管理部長、区民生活部長、地域文化スポーツ部長、産業経済部長、環境清掃部長、健康部長、健康推進担当部長、子ども家庭部長、防災都市づくり部長、土木担当部長、会計管理部長、教育部長、総務企画課長、企画担当課長、財政課長、広報課長	
付議案件	
1 防災・防犯カメラのネットワーク化及びA I 防犯カメラの実証について	
審議の要旨	
1 防災・防犯カメラのネットワーク化及びA I 防犯カメラの実証について 生活安全課長から資料に基づき説明があり、了承。 (主な意見・質疑) ○今回はA I 防犯カメラの実証を行うということであるが、どのような検証を行うのか。 ・ A I カメラの精度や事務の効率化が図られるかについて検証するとともに、運用面で問題がないかも検証する。 ○A I 防犯カメラを行方不明児童の捜索等に活用する想定だが、区としてもA I カメラを活用しつつ、警察との連携はどのように行うのか。 ・ 区においてA I 防犯カメラで顔検知をして行方不明児童等を探すことが可能であり、警察への情報提供も可能である。	
配付資料	
1 防災・防犯カメラのネットワーク化及びA I 防犯カメラの実証について	



庁議付議予定案件  
(令和7年9月18日 午後 3時00分～)

- 1 防災・防犯カメラのネットワーク化及びA I 防犯カメラの実証について

(説明者 生活安全課長)

○ 今後の庁議日程

10月 2日(木) 午後 1時30分～

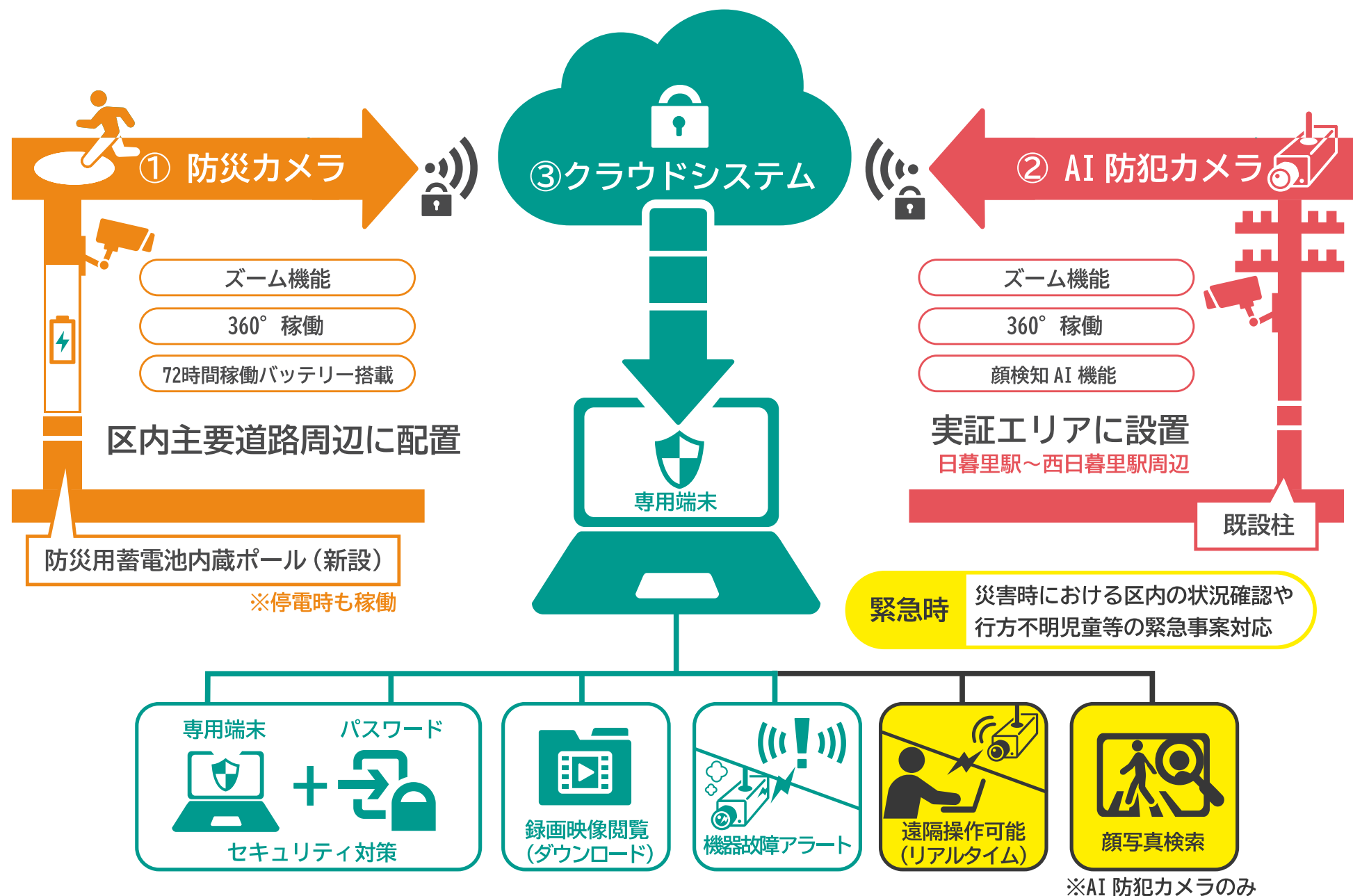
10月 9日(木) 午後 1時30分～



件 名	防災・防犯カメラのネットワーク化及びA I 防犯カメラの実証について
ポイント	防災・防犯カメラのネットワーク化及び顔検知機能を搭載したA I 防犯カメラ（以下「A I 防犯カメラ」という。）における実証概要について、報告する。
内 容	<p>1 実証目的</p> <p>大規模災害発生時に迅速な被災状況の把握と避難指示等の対応や緊急事案の早期発見・解決を実現するため、防災カメラの設置に加え、エリアを限定して防災・防犯カメラのネットワーク化及びA I 防犯カメラの設置を試行実施し、その効果を検証する。</p> <p>2 実証概要（別紙1 参照）</p> <p>（1）実証内容</p> <p>防災・防犯カメラのネットワーク化及びA I 防犯カメラの有効性を検証するため、今年度、防災カメラ及びA I 防犯カメラを設置し、ネットワークシステムの構築を以下のとおり実施する。</p> <p>①防災カメラ（専用柱等含む）の設置（31台）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常時は防犯カメラ、災害時は防災カメラとして稼働</li> <li>・緊急時にズームと360度稼働が可能なカメラを設置</li> <li>・72時間稼働可能なバッテリーを搭載した専用柱を新設（別紙2 参照）</li> </ul> <p>※ 停電時でもズームや360度稼働が可能なカメラを設置することで、災害発生時に区内の緊急輸送道路などの主要道路や主要駅等の滞留状況を確認でき、迅速な注意喚起や避難指示などの対応を図る。</p> <p>②A I 防犯カメラの設置（33台）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日暮里駅から西日暮里駅周辺エリアで実証開始</li> <li>・実証エリアの防犯カメラ（生活安全課16台、教育総務課8台、地元団体9台）を顔検知可能なA I 防犯カメラに交換し生活安全課で所管する。</li> <li>・緊急時にズームと360度稼働が可能なカメラを設置</li> </ul> <p>※ 日暮里駅から西日暮里駅周辺を実証エリアとし、同エリアの既存の防犯カメラをA I 防犯カメラに交換することで、行方不明児童の捜索等の緊急事案発生時の早期解決を図る。</p> <p>③ネットワークシステムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災カメラと実証エリアのA I 防犯カメラをネットワーク化</li> <li>・クラウド上で一括管理、庁舎の専用PCでの閲覧体制を構築</li> <li>・防災カメラとA I 防犯カメラの故障確認（常時）</li> </ul> <p>※ 新設する防災カメラとA I 防犯カメラをネットワークで接続し、クラウド上での管理体制を構築することで、緊急時に遠隔での映像確認や迅速な対応を目指す。</p> <p style="text-align: right;">※裏面あり</p>

今 後 の 予 定	(2) 実証場所（別紙3参照） ・ 防災カメラ（31台）は、緊急時に主要道路を確認できるよう、概ね500m間隔で配置する。 ・ AI防犯カメラ（33台）は、実証エリア（日暮里駅～西日暮里駅周辺）の既存防犯カメラと交換する。			
	(3) 委託費 ・ 契約額 187,093,995円 ※歳入額 93,546,997円（国費1/2）			
	(4) 実証期間 令和7年12月上旬～令和8年11月下旬（予定）			
	(5) 主な検証内容 ・ ネットワーク化による情報収集や共有時間の短縮効果（防災・防犯カメラ） ・ クラウド上での一括管理による事務の効率化（防災・防犯カメラ） ・ AI顔識別機能の精度（設置角度、ズーム、天候など）（防犯カメラのみ）			
	3 今後の方向性 実証を通じて、ネットワーク化による情報共有の迅速性や管理効率、円滑なシステム利用およびAI顔検知による技術的な課題などを総合的に評価し、今後のエリア拡大等について検討する。			
議会等報告	開示予定日	区報	HP	記者会見
10月15日 福祉・区民生活委員会	委員会説明後	-	11月下旬	11月下旬

<主管部課> 区民生活部防災課、生活安全課







防災カメラ（防災用蓄電池内蔵ポール）イメージ図

